

都市再生整備計画 事後評価シート
高崎駅周辺地区

令和7年3月

群馬県高崎市

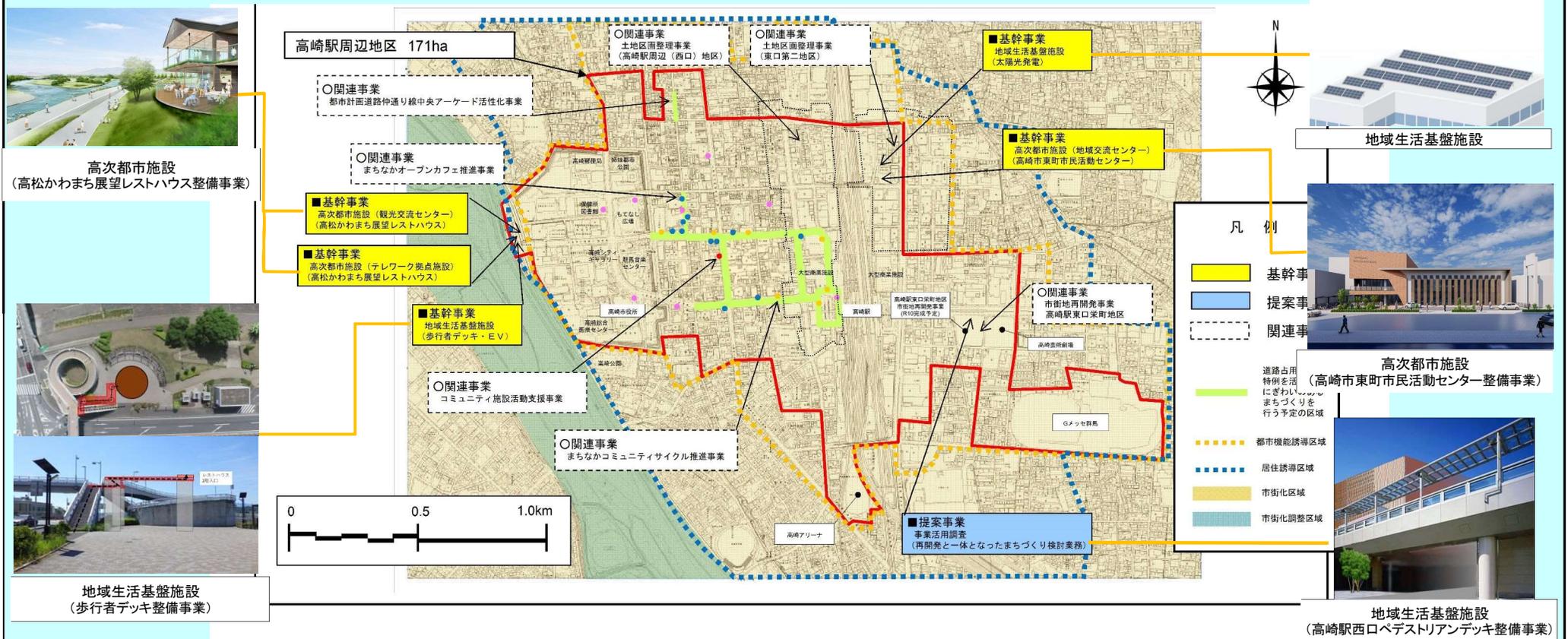
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県		市町村名	高崎市		地区名	高崎駅周辺地区		面積	171ha				
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	2,253.0百万円	国費率	0.498					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	・地域生活基盤施設(高崎駅東口ペDESTリアンデッキ整備事業) ・高次都市施設(パブリックセンター整備事業(地域交流センター)) ・誘導施設(子ども図書館(教育文化施設))		事業名									
		提案事業	なし											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	・地域生活基盤施設(高崎駅東口ペDESTリアンデッキ整備事業) ・高次都市施設(パブリックセンター整備事業(地域交流センター)) ・誘導施設(子ども図書館(教育文化施設))		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	なし				・パブリックセンター及び子ども図書館については、高崎駅東口栄町地区第一種市街地再開発事業で建設予定の複合施設内に整備予定だが、再開発事業がコロナにより事業延期されたことに伴い、基幹事業から削除。また、一体的に整備予定の高崎駅東口ペDESTリアンデッキについても同様。		・当初、指標3で設定していた「駅から施設までの所要時間」を削除。 ・指標1「歩行者・自転車通行量」および指標2「高崎駅乗車人数」を従前値まで下方修正					
	新たに追加した事業	基幹事業	・地域生活基盤施設(歩行者デッキ・エレベーター整備事業、太陽光発電整備事業) ・高次都市施設(高崎駅東町市民活動センター整備事業(地域交流センター)) ・高次都市施設(高松かわまち展望レストハウス(観光交流センター、テレワーク拠点施設))						・各施設と一体的に整備することで、前者は利用者の利便性向上やバリアフリーの形成を図り、後者はエネルギー自立度を極力高めつつ、室内環境の質の維持を図るため。 ・市民活動の継続、地域コミュニティの形成を図るため。 ・新たな賑わいを創出し、まちなか回遊性の向上と交流人口の増加を図るため。					
		提案事業	・事業活用調査(再開発と一体となったまちづくり検討業務(まちづくり検討業務))						・削除した「地域生活基盤施設(高崎駅東口ペDESTリアンデッキ整備事業)」について、設計のみを行うことから国と協議し提案事業として追加。 なし					
交付期間の変更	当初	令和2年度～令和5年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		指標1,2に関連するが、指標及び数値目標は据え置く								
	変更	令和2年度～令和6年度												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	歩行者・自転車通行量の維持	人/日	159,734	H30	159,734	R6	モニタリング	評価値	159,640	△	あり	まちなかオープンカフェ推進事業等のソフト事業等の効果もあり、通行量は目標値に届かなかったものある程度維持されていると感じるが、さらなる賑わいの波及には至っていない。未完了の事業が主な原因と考える。	R9.3
	指標2	高崎駅乗員人数の維持	人/日	32,169	H30	32,169	R6			30,469	△	あり	高崎駅を中心とした施設等の整備が事業延期等で進まず、目標値には届かなかった。事業延期による計画からの削除や、未完了の事業があることが主な原因であると考える。	R9.3
	指標3	市民活動センター利用件数の維持	件/年	1,970	R1	1,970	R6			-	×	あり	市民活動センターの建設工事の工期が延長されたこともあり、事後評価時点では竣工前で測定することができなかったため、その他の指標で定めた同種同規模の施設の利用者数から、1年以内の達成の見込みがあると判断した。	R9.3
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	高崎市市民活動センター利用者数の維持	人	40206	R1		モニタリング	評価値	41,900			指標3に関連する同種同規模の施設の利用者数の維持について目標値を達成したため、指標3の達成見込みは「あり」とした。	-	
4)定性的な効果発現状況	・オープンカフェやコミュニティサイクルにより、官民が連携してまちの賑わいを創出している。													
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	・事業担当部署間のミーティング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●		・事業期間中のモニタリングを明確に位置づけ、所定様式に則り開催する。			
	官民連携による取組	・高崎まちなかオープンカフェ推進協議会の活動 ・まちづくり協議会の活動 ・高崎まちなかコミュニティサイクル推進協議会の活動			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●		・本地区は、高崎市中心市街地商業活動のコアにあり、地域と協働した「おもてなし」の質的向上を図る方針である。			
	持続的なまちづくり体制の構築	・高崎まちなかオープンカフェ推進協議会の活動充実 ・まちづくり協議会の活動充実 ・高崎まちなかコミュニティサイクル推進協議会の活動充実			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●		・放置自転車とまちなかの自転車事故を撲滅するため、利用者のモラル向上を目的とした啓蒙活動を実施する。			

様式2-2 地区の概要

高崎駅周辺地区(群馬県高崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
・都市機能が集積し、広域から人・もの・情報が集まる都市 ・官民が協働し、賑わいあふれる都市 ・市民活動が盛んであり、誰もが暮らしやすい都市	歩行者・自転車通行量の維持	単位:人/日	159,734 H30	159,734 R6	159,640 R6
	高崎駅乗員人数の維持	単位:人/日	32,169 H30	32,169 R6	30,469 R6
	市民活動センター利用件数の維持	単位:件/年	1,970 R1	1,970 R6	- R6



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・従前と同規模の施設を整備することで、市民が集まれる場所の維持につながったが増えてはならず、また子供が集まれる場所は変わらず不足したままである。 ・中心市街地の歩行者数について、目標には届かなかったもののある程度の維持は見られたが、賑わいや回遊性の向上につながっていない。 ・施設の整備だけでなく、市民活動の継続および地域コミュニティの形成を図るために施設での事業等を検討する必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を完了させることで子供が遊べる場所・市民が集まれる場所の不足を解消しつつ、子供関連の施設にちなんだイベント等のソフト事業や商業施設・オフィスを展開することで市内外からの交流人口の増加につなげる。 ・駅の東西にそれぞれ施設整備やデッキ等の都市基盤の整備を行うとともに、回遊ルートや街なかの移動手段の検討、情報発信等、商店街等における来訪者の消費活動の促進に向けた集客力と回遊性の向上に取り組む。 ・新施設で安心・安全に市民活動の継続および地域コミュニティの形成を図るため、施設効果を最大限高めるためにイベント実施などを検討する。